

# TortoiseGit セットアップ手順

2013 年 7 月 19 日 初稿

## ■ 改訂履歴

稿	改訂日	改訂者	改訂内容
初稿	2013 年 7 月 19 日	板垣 衛	(初稿)

## ■ 目次

■ 本書が扱うソフトウェアとバージョン .....	1
■ msysGit のインストール .....	1
■ TortoiseGit のインストール .....	5
■ TortoiseGit の日本語パックをインストール .....	7
■ TortoiseGit の初期設定.....	8
■ TortoiseSVN のインストール .....	13
■ WinMerge のインストール.....	14

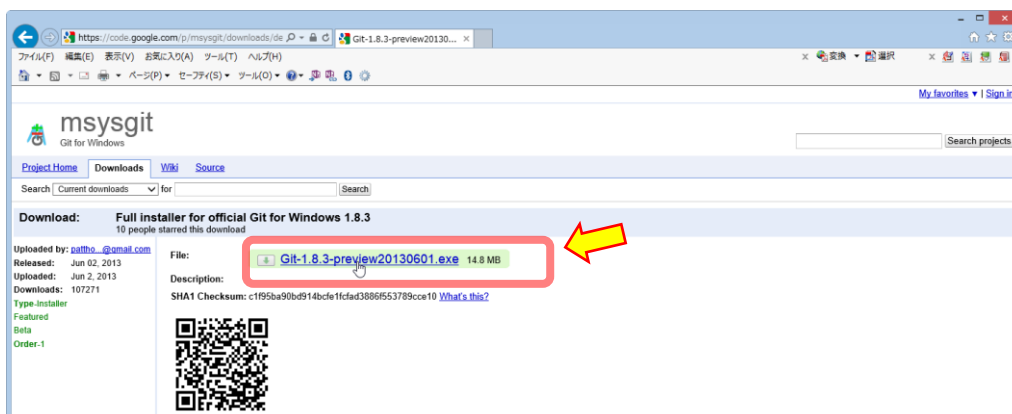
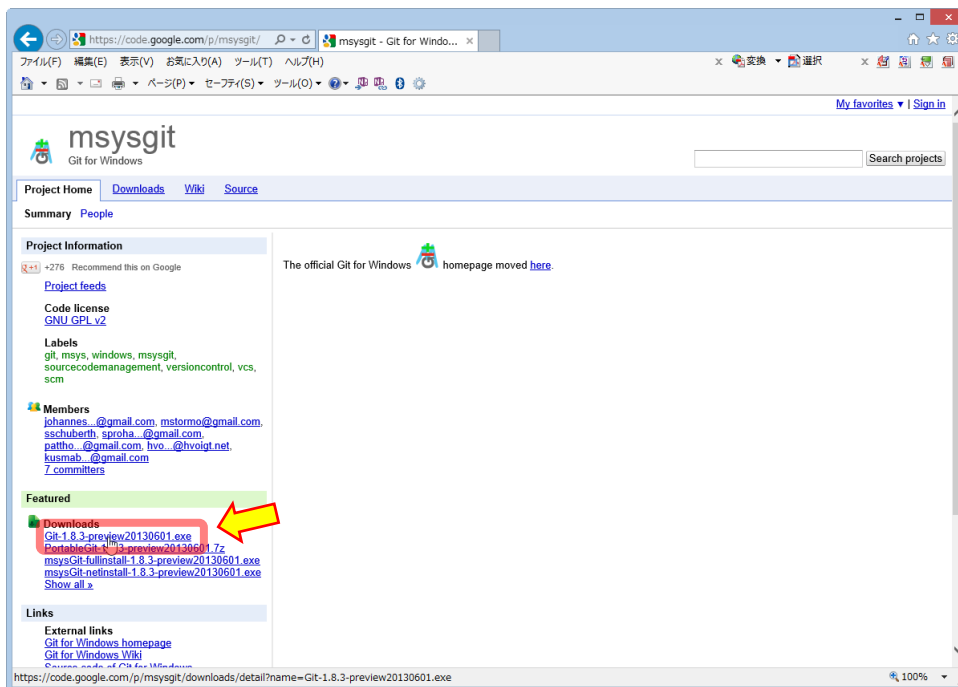
## ■ 本書が扱うソフトウェアとバージョン

- msysGit ... Ver.1.8.3.msysgit.0
- TortoiseGit ... Ver.1.8.3.0 – 64 Bit
- TortoiseSVN ... Ver.1.8.0, Buid 24401 – 64 Bit
- WinMerge ... Ver.2.14.10+~jp-10 – Japanese Unicode

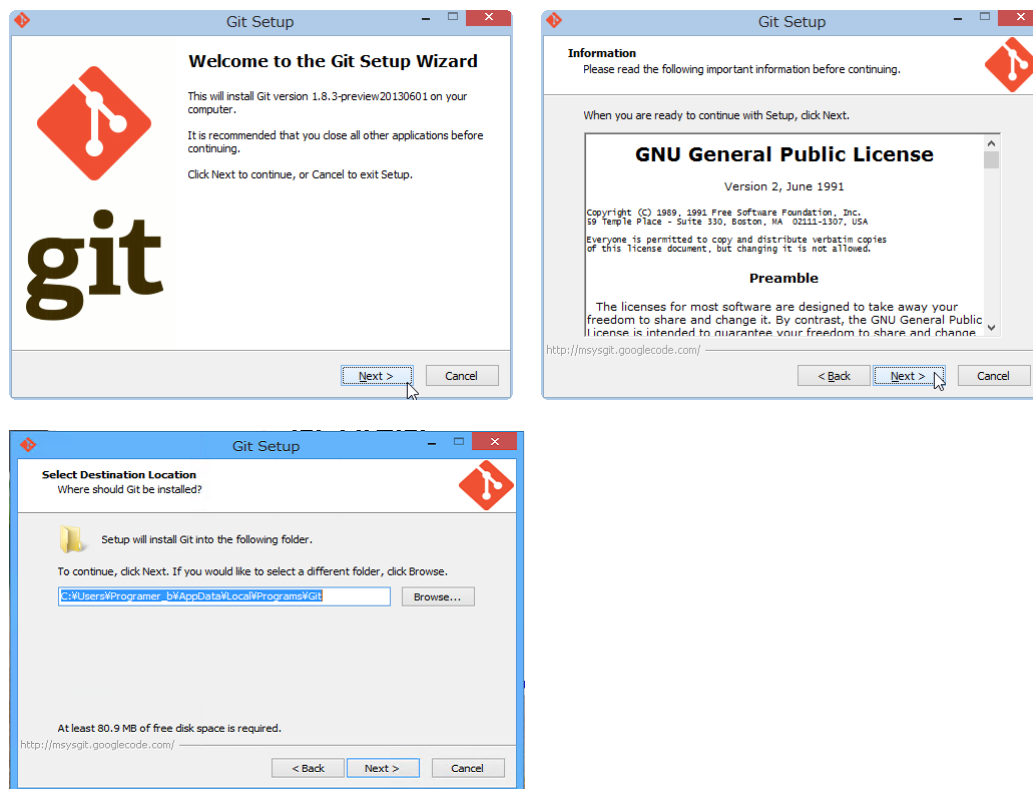
※Windows で Git を使用する方法として、Cygwin を利用する方法もあるが、本書ではその説明は行わず、msysGit を使用する事を標準として定めるものとする。

## ■ msysGit のインストール

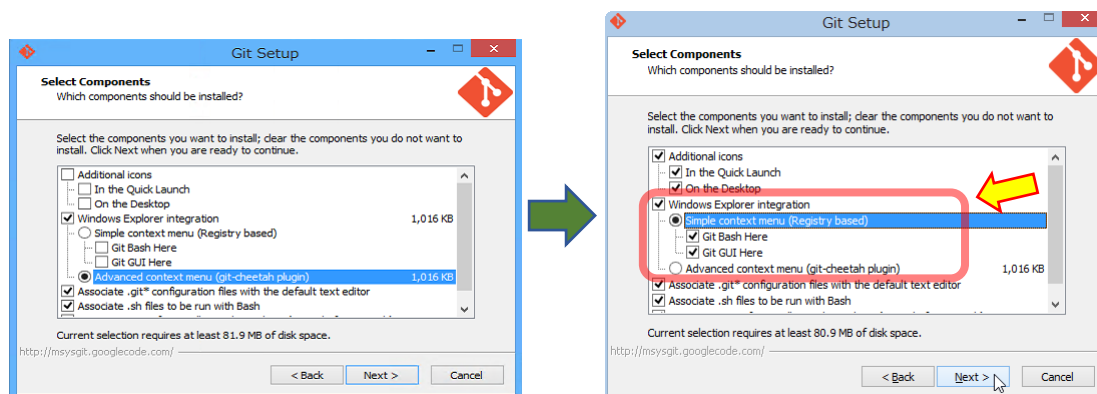
<https://code.google.com/p/msysgit/> から、インストーラーをダウンロードする。



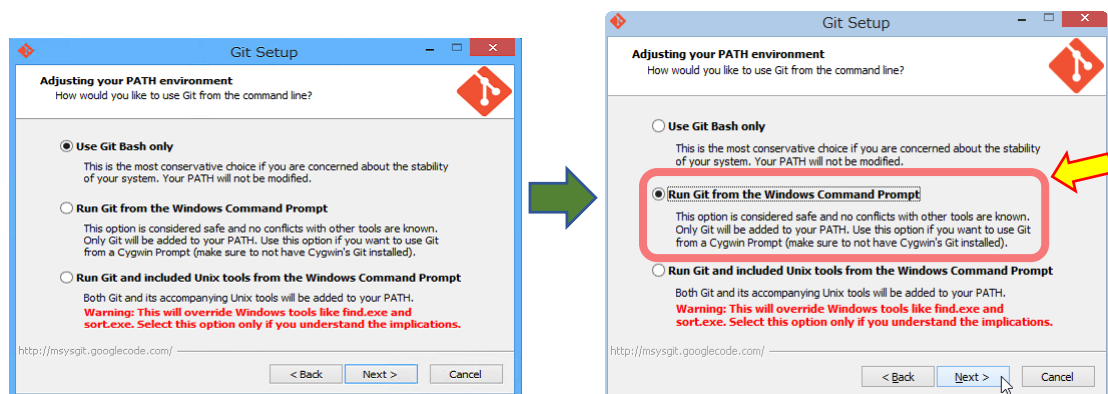
インストーラーが起動したら、画面の指示に従ってインストールを進めていく。



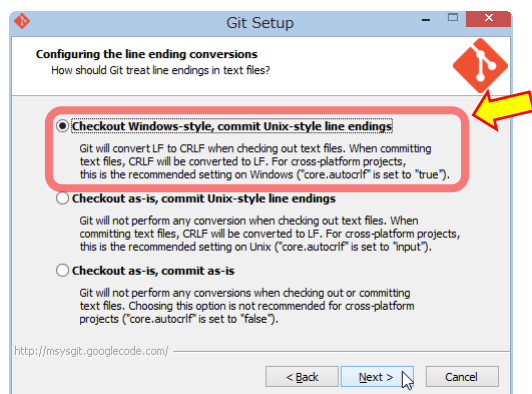
インストールオプションの設定では、Git のコマンドライン操作が使えると便利な場面もあるため、[Windows Explorer integration] の項目で [Simple context menu (Registry based)] を選択して、Explorer からシェルを実行しやすいように設定する。(コンテキストメニューに項目が増えるので、それが問題なら無理に設定しなくても良い。)



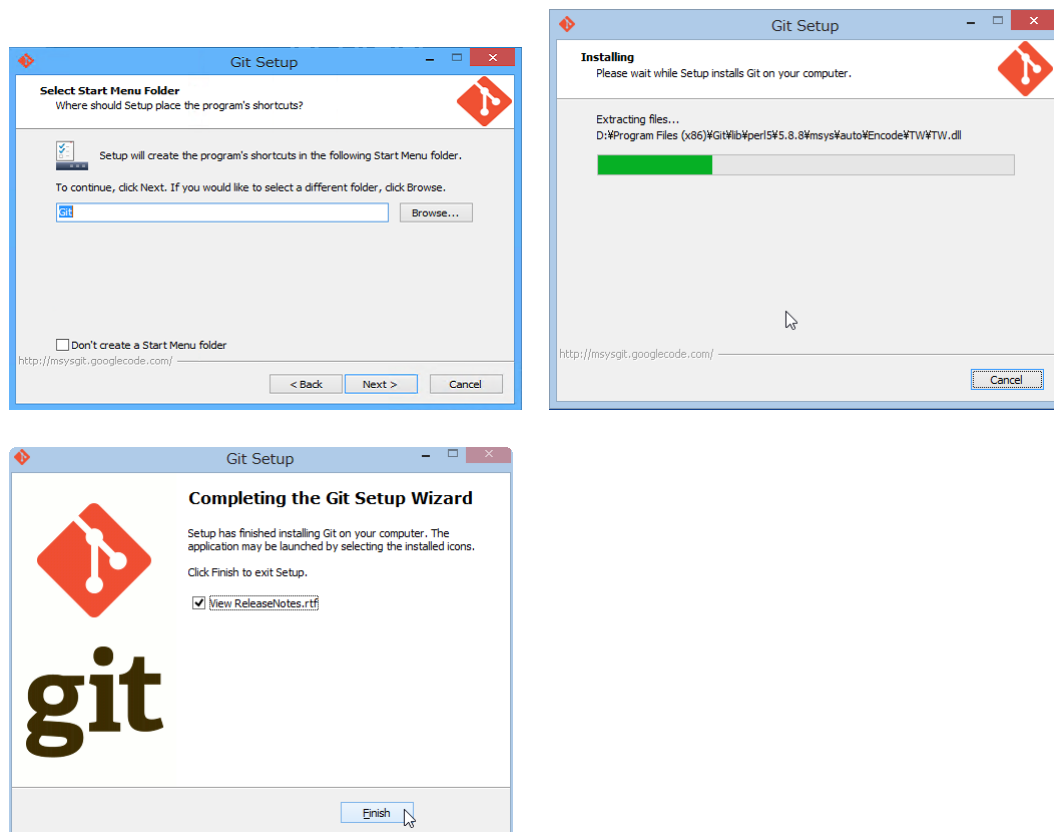
次のインストールオプションの設定では、バッチファイルなどから `git` コマンドを使用し易いように、「Run Git from the windows Command Prompt」を選択する。



次のインストールオプションの設定では、リポジトリ上と Windows 上でファイルを扱いように、デフォルトのまま「Checkout Windows-style, commit Unix-style endlines」を選択する。これにより、Windows 上では改行コードが CR-LF になり、リポジトリ上では LF になる。



後はそのまま最後までインストールを続行する。

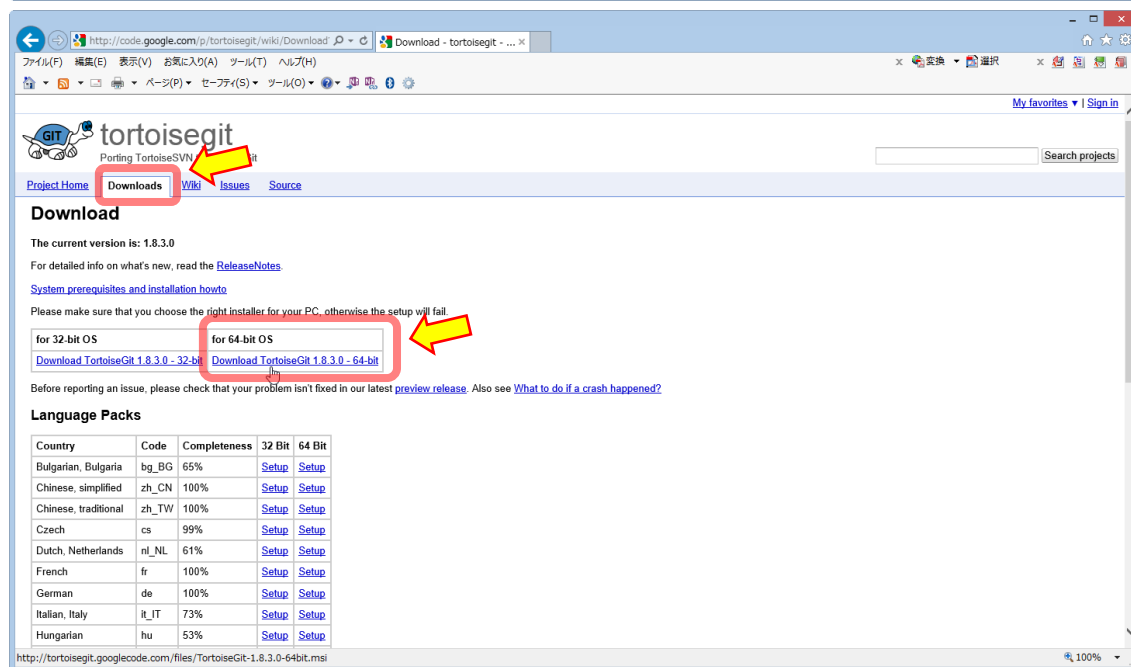
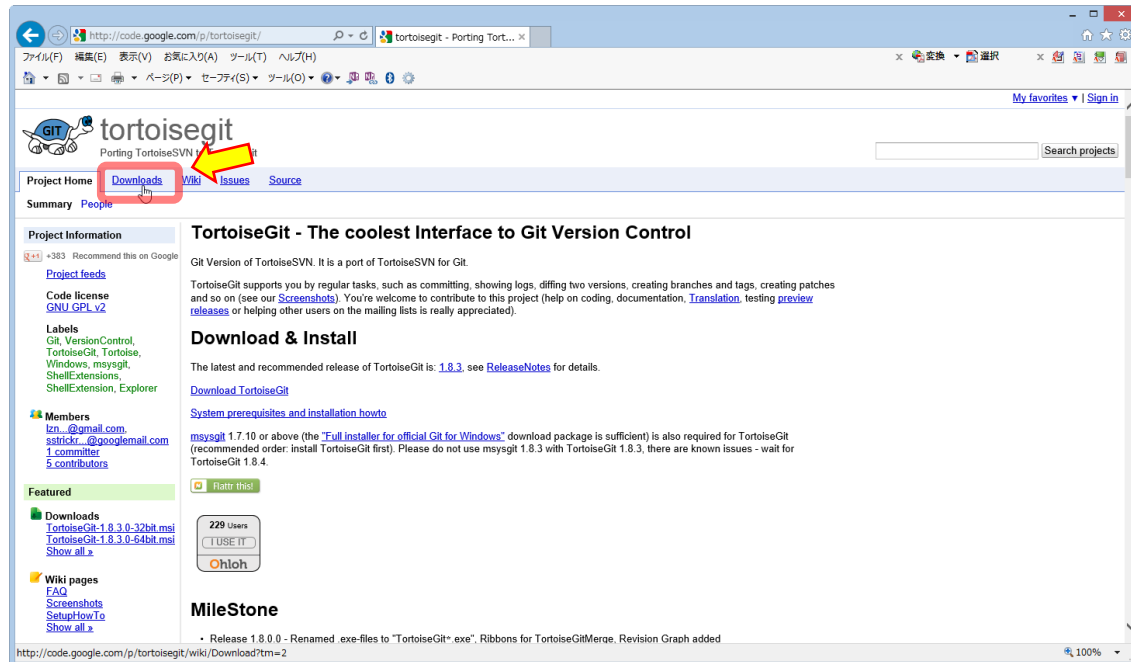


インストールが完了すると、Explorer の右クリックメニュー（コンテキストメニュー）に msysGit のメニューが表示されるようになる。



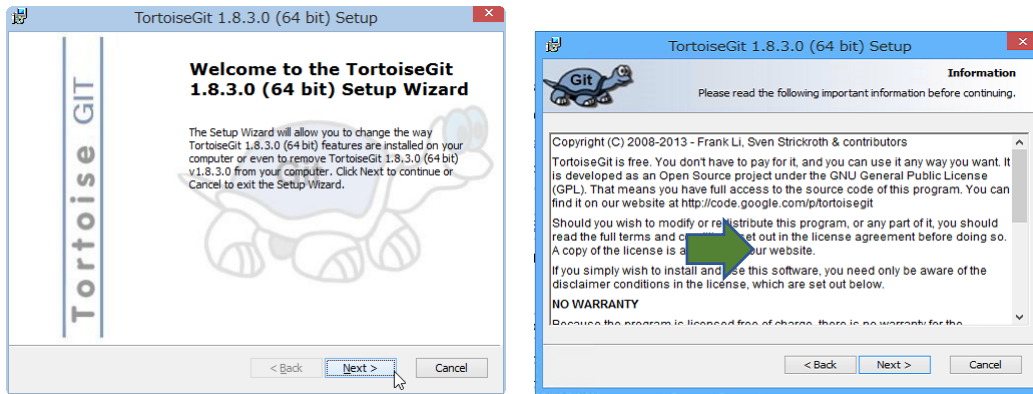
# ■ TortoiseGit のインストール

<https://code.google.com/p/tortoisegit/> から、インストーラーをダウンロードする。

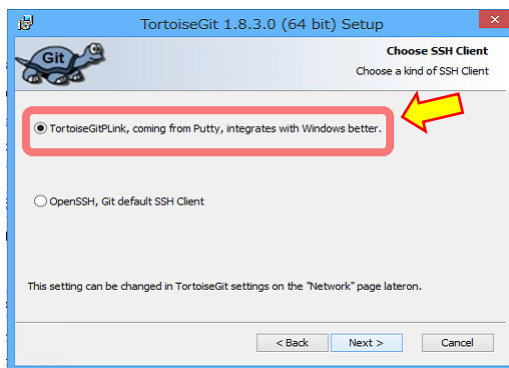




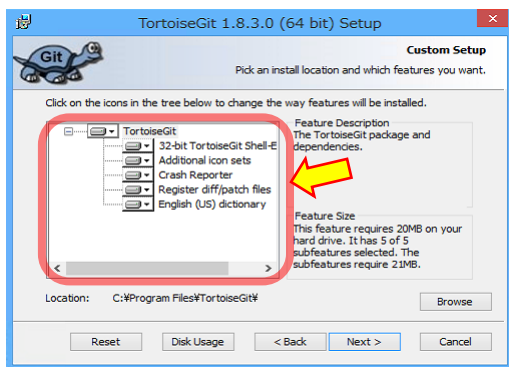
インストーラーが起動したら、画面の指示に従ってインストールを進めていく。



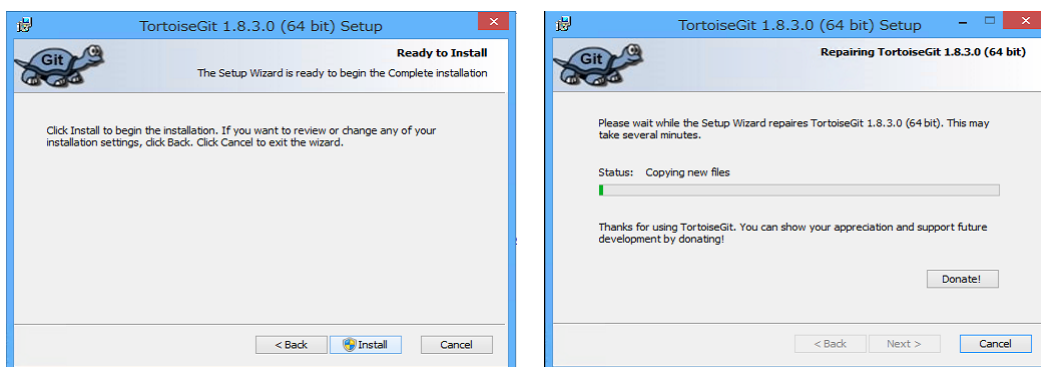
SSH Client を指定するインストールオプションの設定では、デフォルトのまま、「TortoiseGitPLink」を指定する。

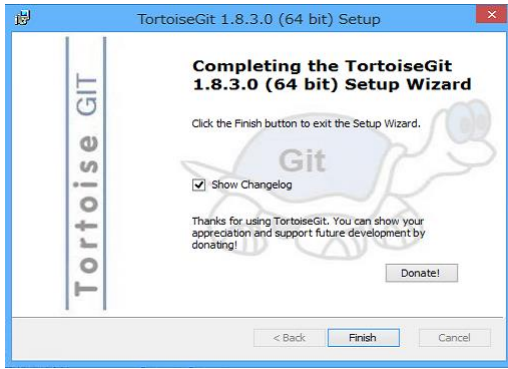


インストール項目もデフォルトのまま全項目のインストールとする。

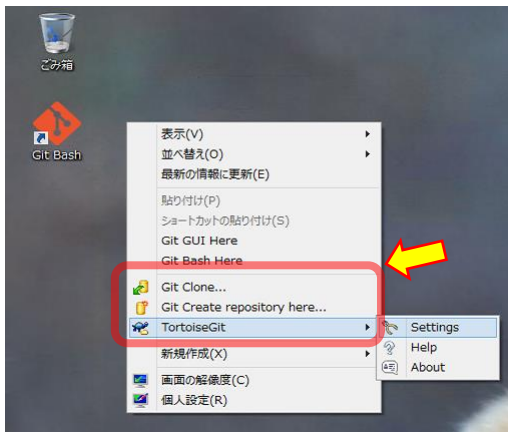


後はそのまま最後までインストールを続行する。



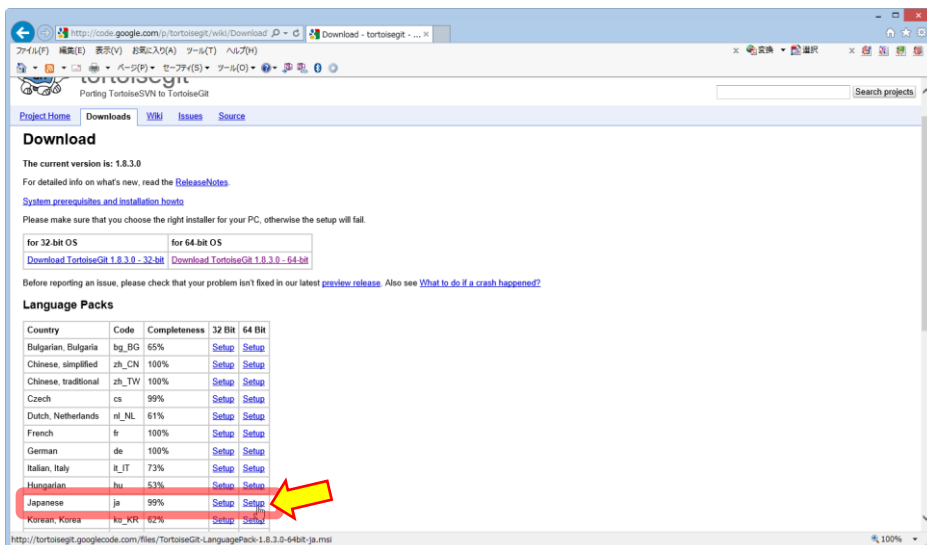


インストールが完了すると、Explorer の右クリックメニュー（コンテキストメニュー）に TortoiseGit のメニューが表示されるようになる。

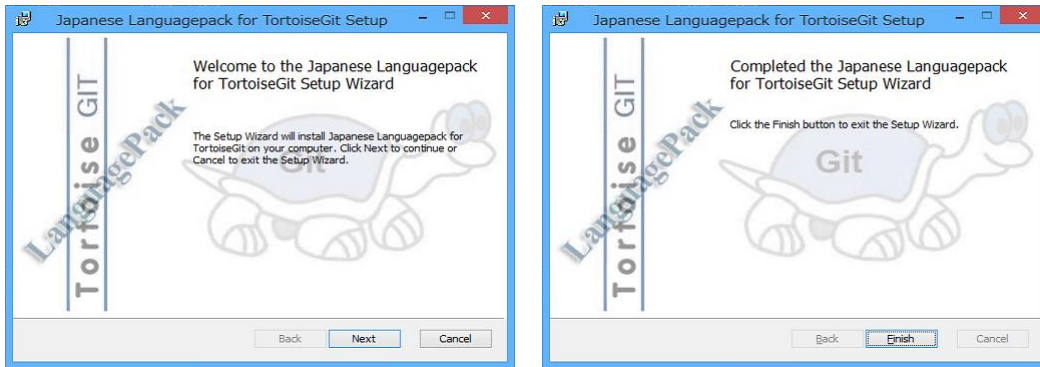


## ■ TortoiseGit の日本語パックをインストール

<https://code.google.com/p/tortoisegit/> から、インストーラーをダウンロード

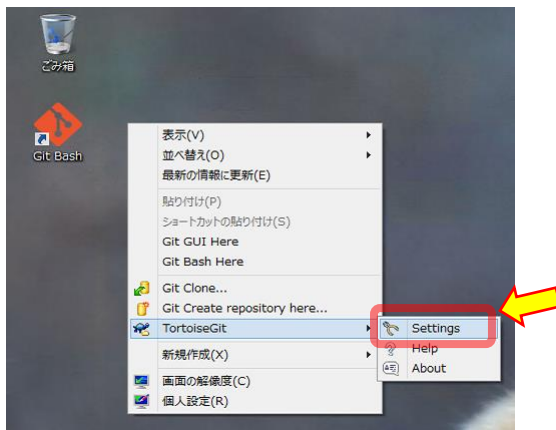


インストーラーが起動したら、そのまま最後までインストールを続行するだけ。

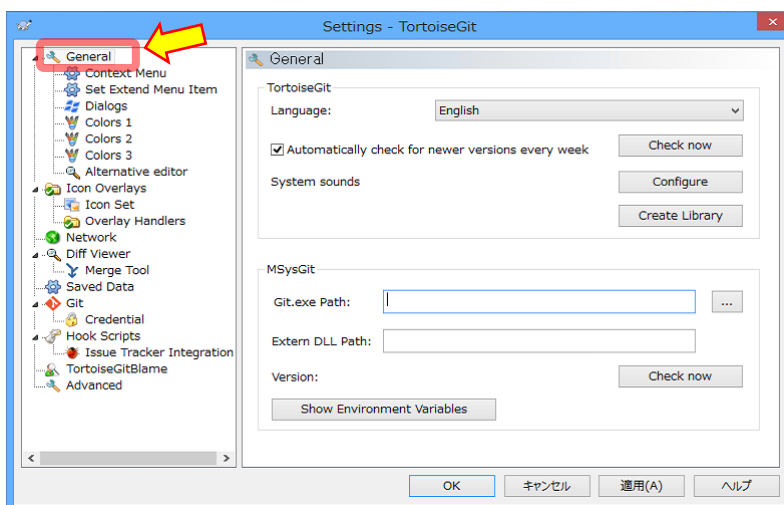


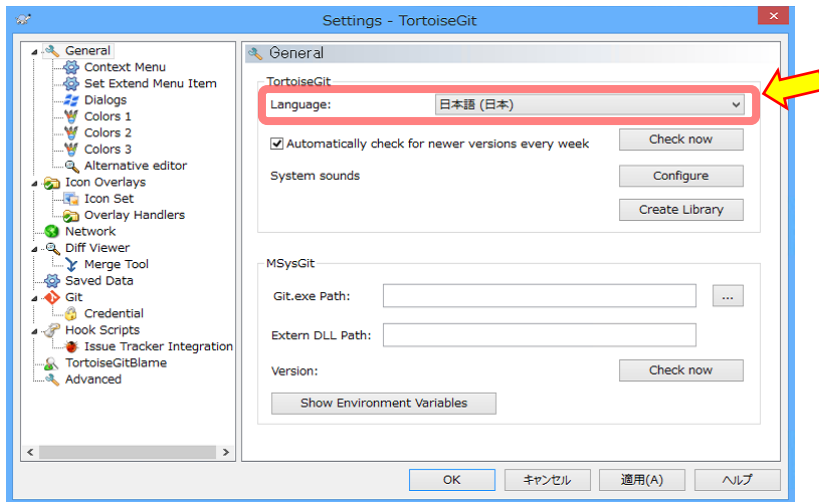
## ■ TortoiseGit の初期設定

Explorer の右クリックメニュー（コンテキストメニュー）から、TortoiseGit の [Setting] を実行し、設定画面を開く。

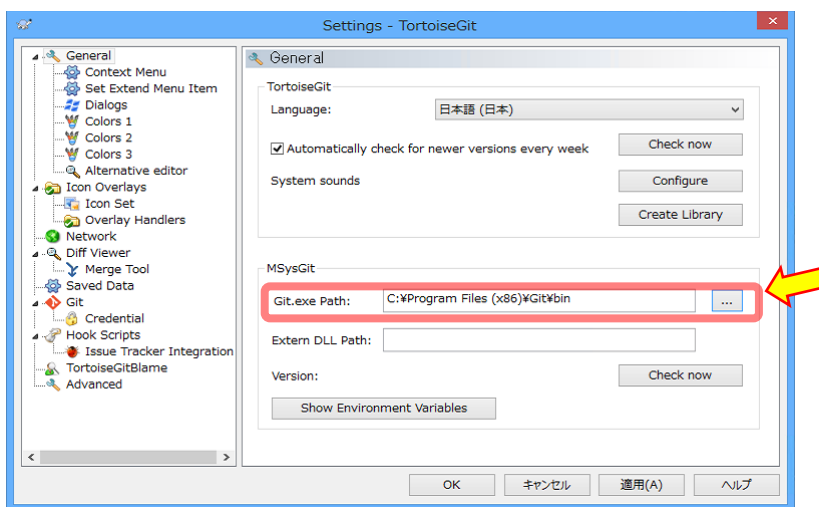


設定画面では、まず、[General] の「Language」と「MsysGit」を指定。

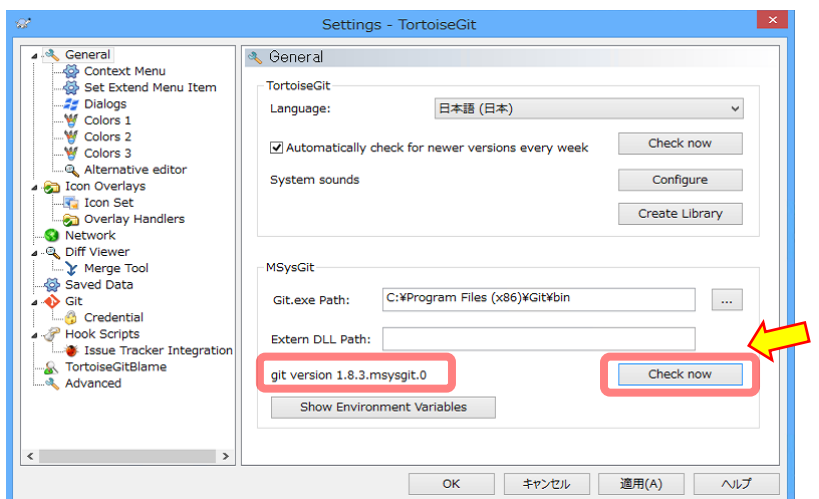




「MSysGit」には、msysGitの実行ファイルがインストールされたパスを指定する。

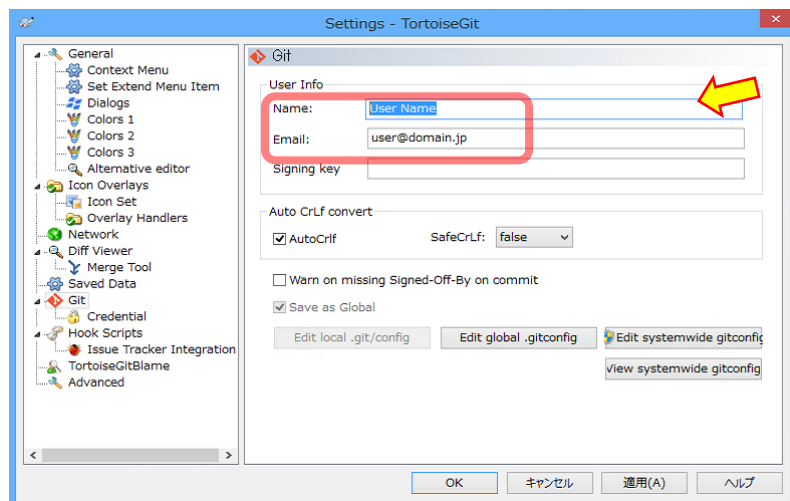
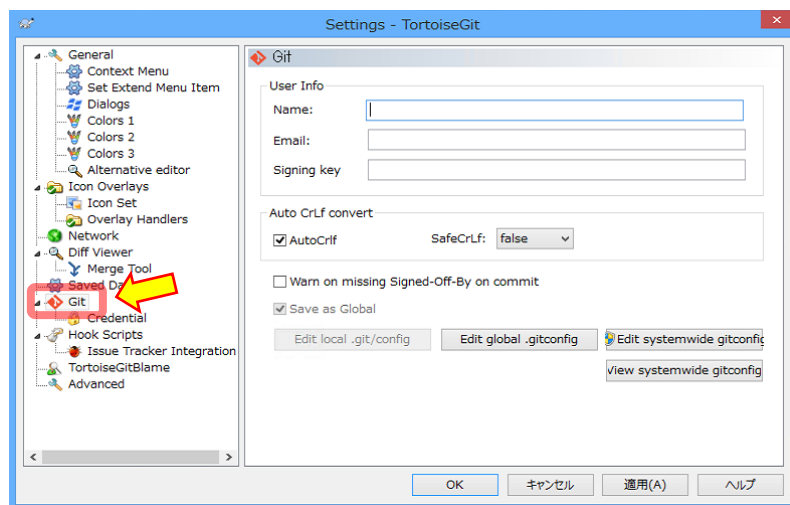


[Check now] ボタンを押した時に、バージョンが正しく表示されれば OK。



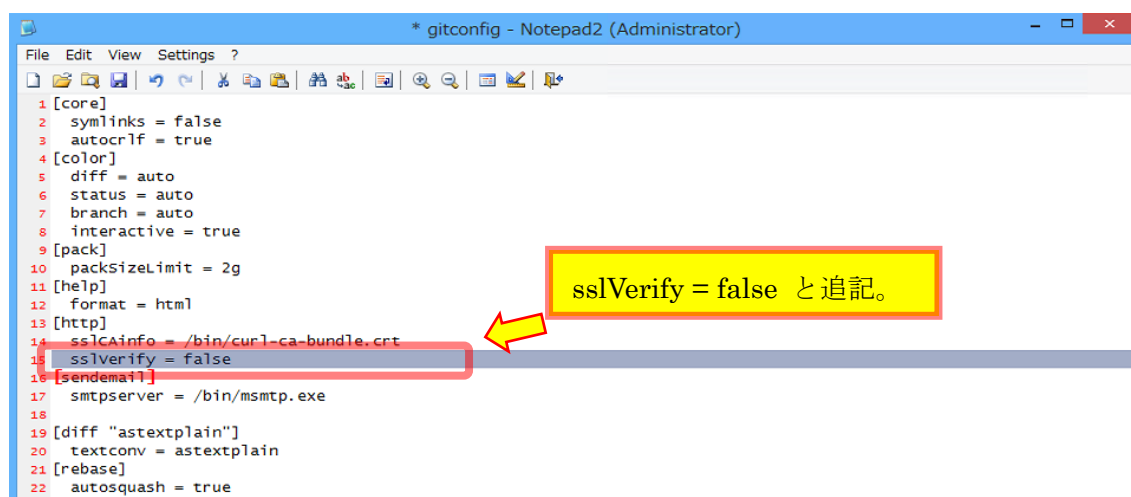
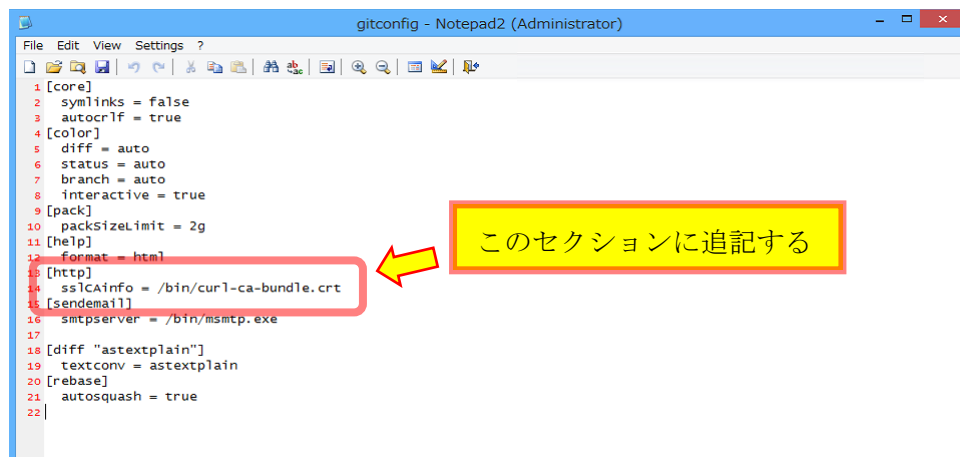
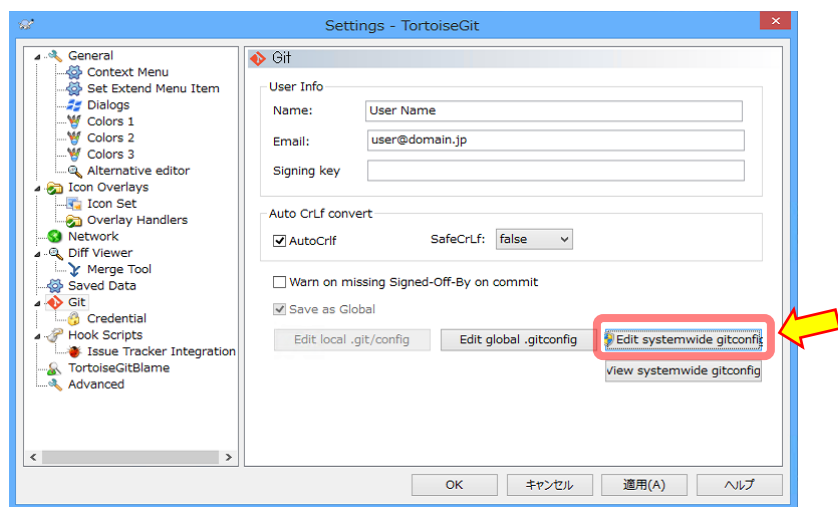
続いて、[Git] メニューの設定に移り、Git でコミットした時にリポジトリに保存される「ユーザー名」と「Email アドレス」を指定する。

「ユーザー名」には日本語を入力しても問題なく動作するが、英字に統一した方が無難。Windows のログオンユーザーID に統一するなどのルールを予め決めておくといい。

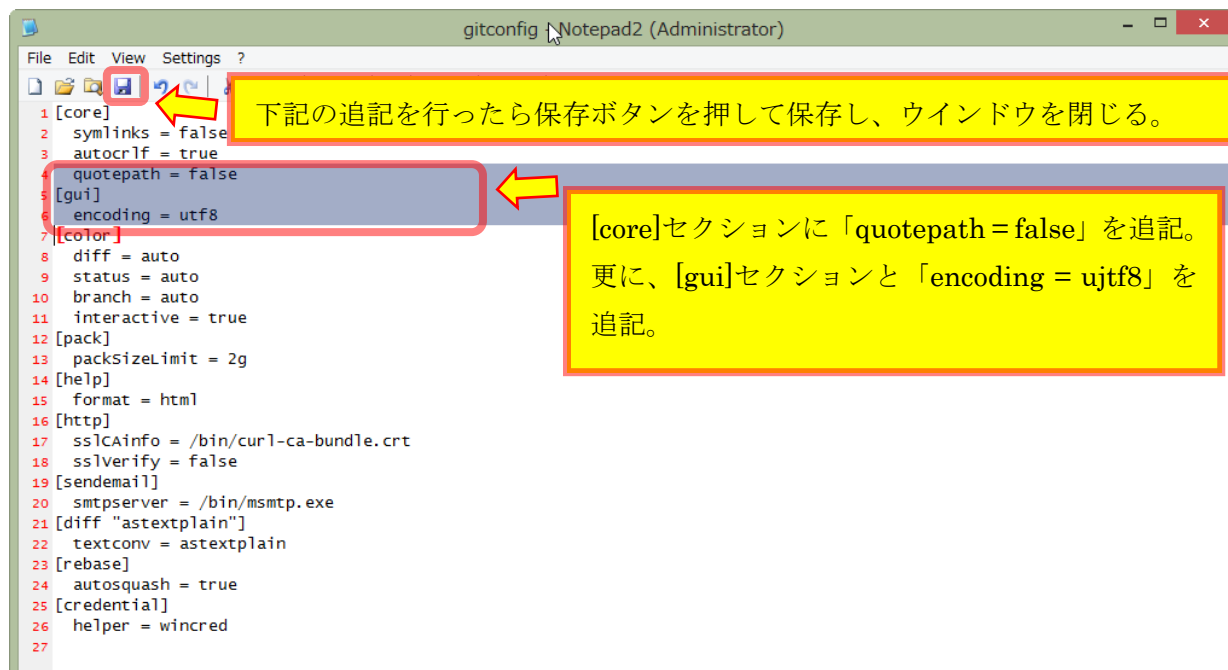


《Git サーバーを社内で立てて、https 通信の SSL 証明書として正当な認証を得ていない証明書を使用している場合、下記の設定を行い、証明書の認証チェックを無効化する》

同じく [Git] メニューにて、「Edit systemwide gitconfig」を実行し、SSL 通信用の証明書の正当性をチェックしないようにする設定を追加する。



更に、msysGit のコマンドライン実行時の文字化け対策として、[core]セクションに「quotepath = false」を追記し、かつ、[gui]セクションと「encoding = utf8」を追記する。



msysGit のコマンドライン実行時の文字化け対策としてもう一つ。

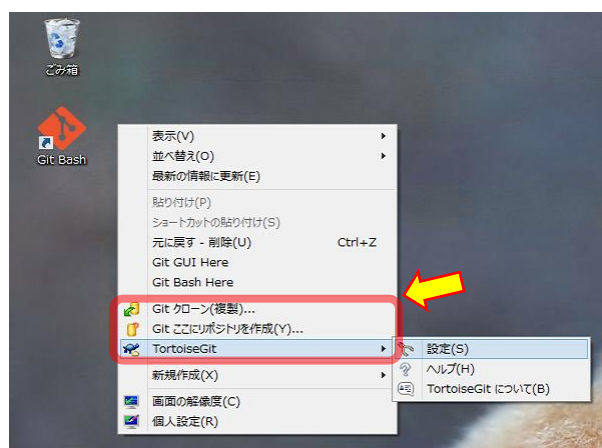
~/bashrc ファイルに、ls コマンド実行時のオプションを下記のように設定しておく。

```
alias ls='ls -F --color=auto --show-control-chars'
```

ファイル編集の方法としては、msysGit のコマンドプロンプトを実行後、「vi ~/.bashrc」を実行して vi エディタで編集するか、メモ帳などでファイル「%UserProfile%\¥.bashrc」を新規に作成して編集する。

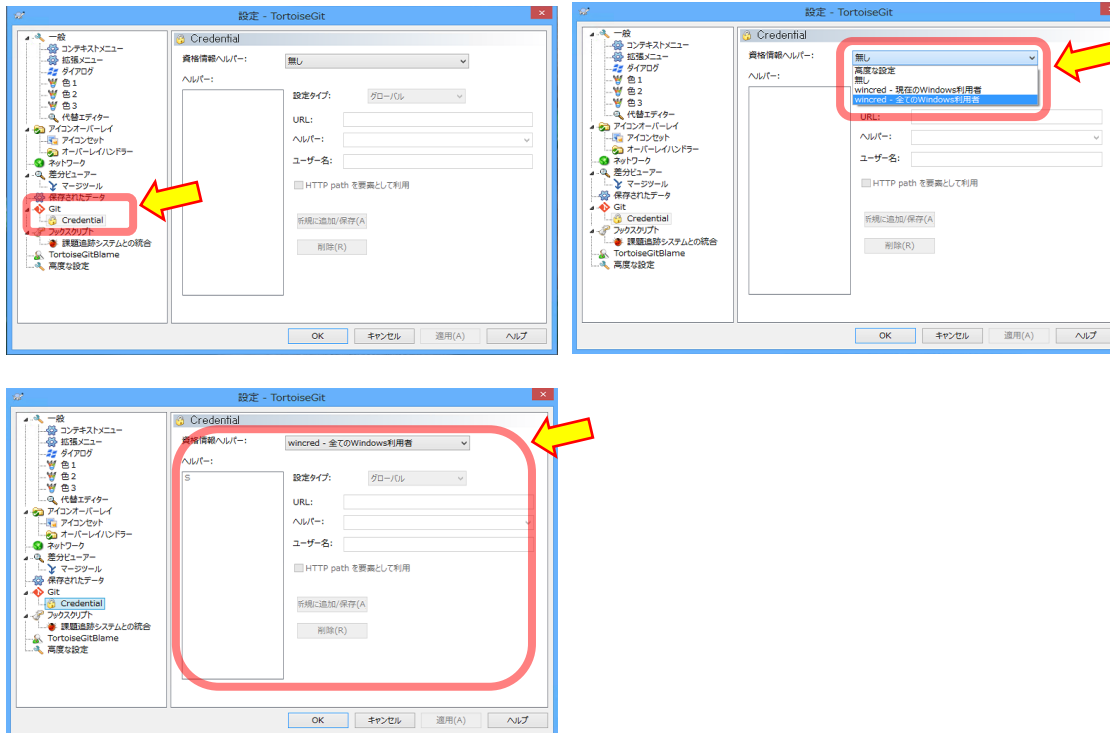
更に、msysGit のコマンドラインで日本語を表示させるには、msysGit のコマンドプロンプトのウインドウ左上のシステムメニューからプロパティを表示して日本語フォントを指定する必要もあるので注意。

以上の設定が済むと、Explorer の右クリックメニュー（コンテキストメニュー）に TortoiseGit のメニューが日本語で表示されるようになる。（また、msysGit のコマンドラインでもファイル名がた正しく日本語で表示されるようになっていく。）



《http/https 通信で Git の共有リポジトリ（サーバー）にアクセスする際、TortoiseSVN のように、ユーザーID とパスワードを自動保存して次回以降の入力を省略できるようにしたい場合、下記の設定を行う》

※TortoiseGit Ver.1.8.1 以降に正式に追加された機能。それまでは専用のツールを別途適用する必要があった。  
再び TortoiseGit の設定メニューから、[Git] → [Credential] を開き、「資格情報ヘルパー」に「wincred - 全ての Windows 利用者」を指定する。



## ■ TortoiseSVN のインストール

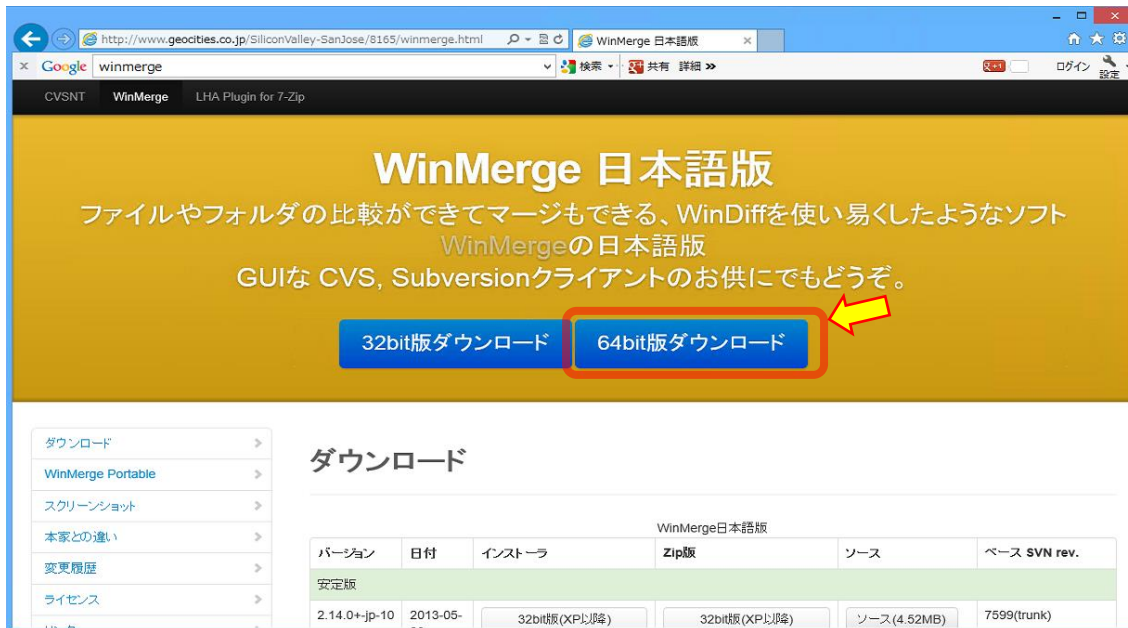
Subversion を利用するケースも多い場合、TortoiseSVN もインストールしておく。後述の WinMerge のインストールの際、先にインストールされていると、少しだけ設定しやすくなる。

なお、インストール方法は省略するが、TortoiseGit と同様に、インストーラーを配布する Web サイトからダウンロードしてインストールし、日本語パックを適用する。

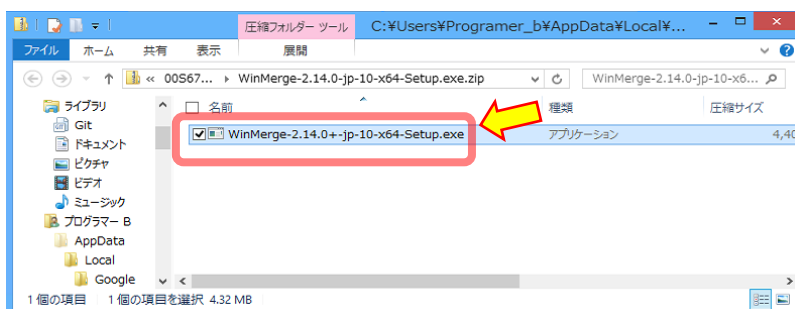
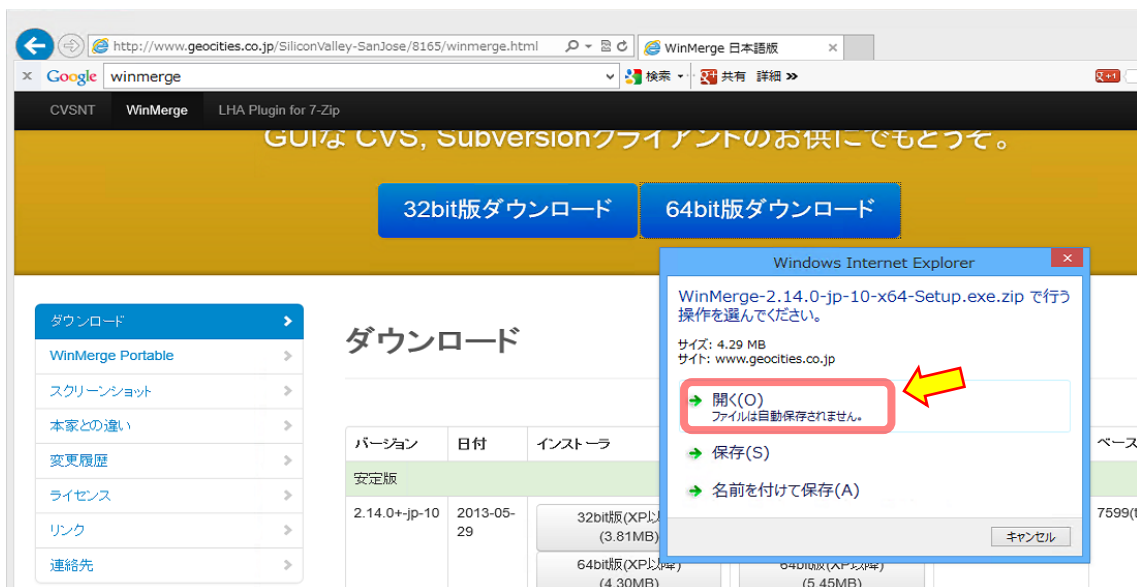


## ■ WinMerge のインストール

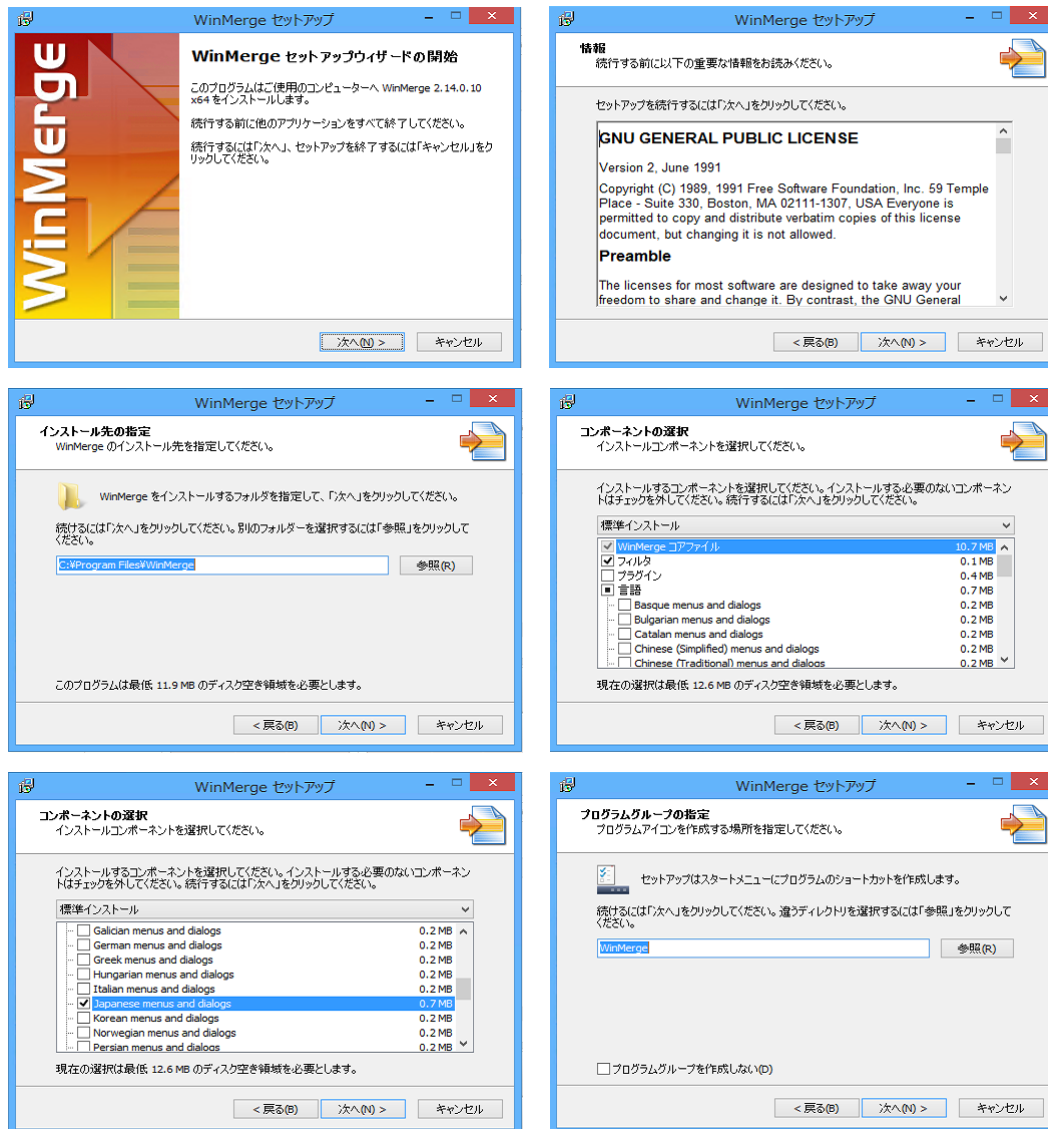
<http://www.geocities.co.jp/SiliconValley-SanJose/8165/winmerge.html> から、インストーラーをダウンロードする。



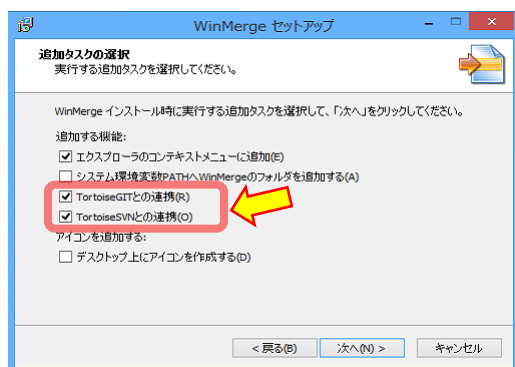
ダウンロードした圧縮ファイルを展開して、WinMerge のインストーラーを起動。



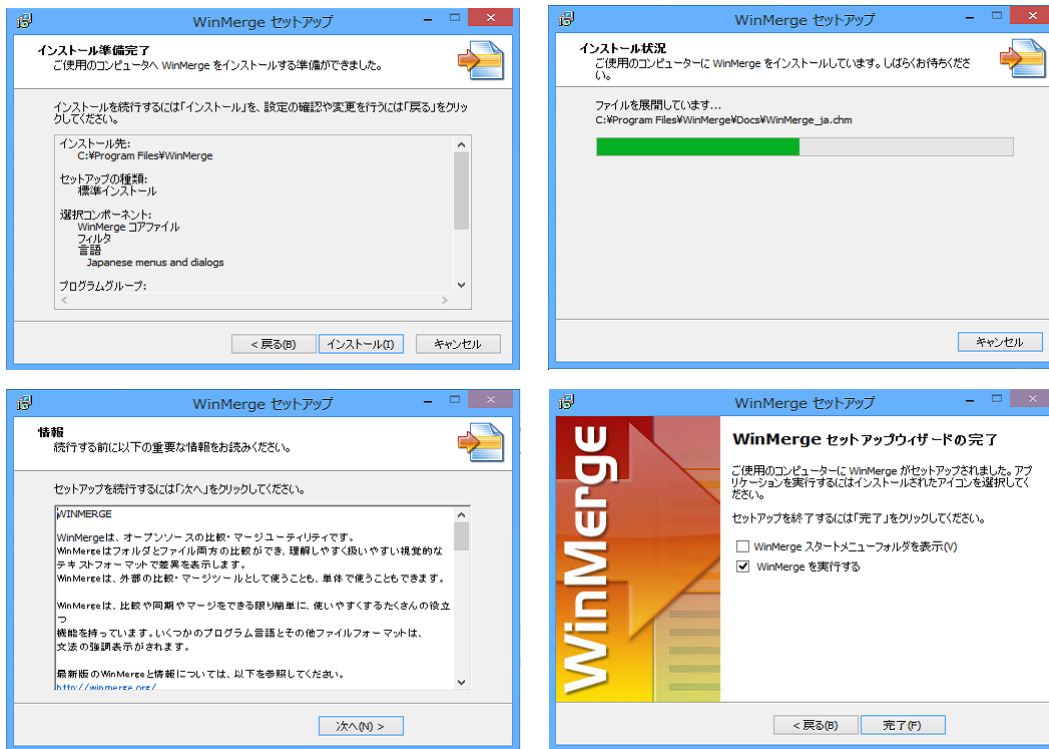
画面の指示に従ってインストールしていく。途中のインストールオプションはデフォルトのままでよい。(日本語が指定されている)



インストールオプションの指定画面の最後に、TortoiseGit/TortoiseSVN との連携の指定がある。先にこれらのツールがインストールされていると出現するオプションで、連携を指定すると、それらのツールの一部の設定を自動的に更新してくれる。

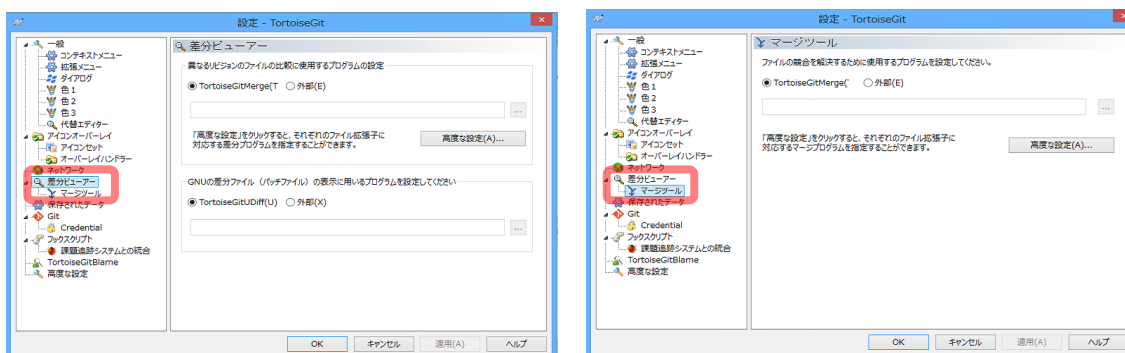


そのままインストールを続行する。

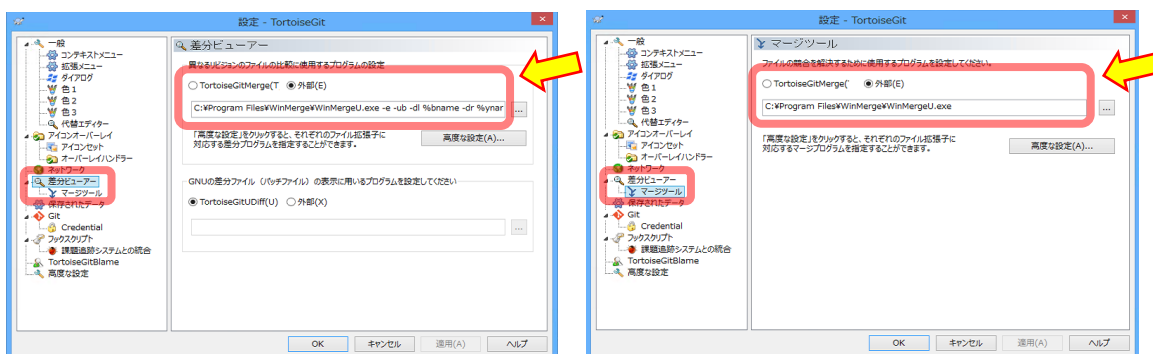


この WinMerge のインストールにより、TortoiseGit の下記の設定が自動的に変更される。

## 《変更前》



## 《変更後》

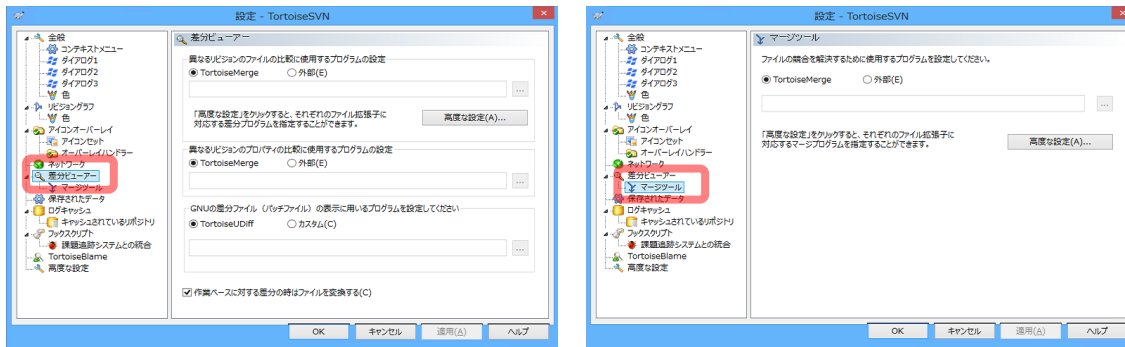


左 : C:\Program Files\WinMerge\WinMergeU.exe -e -ub -dl %bname -dr %sname %base %mine

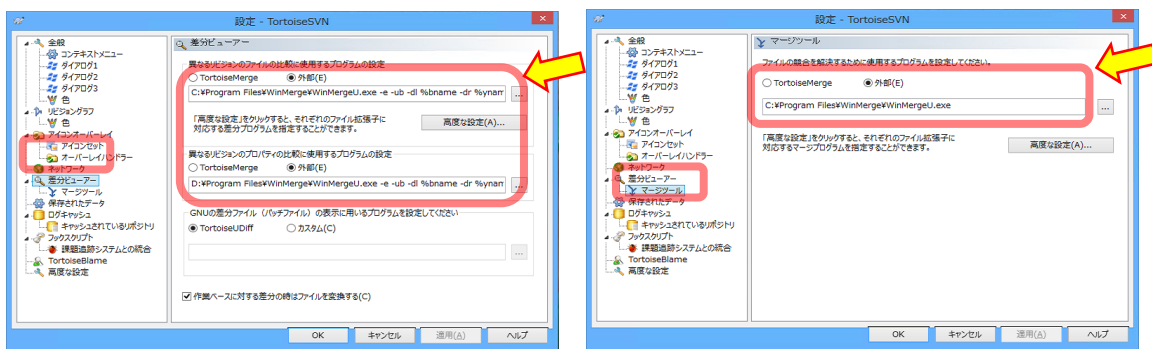
右 : C:\Program Files\WinMerge\WinMergeU.exe

同様に、TortoiseSVN の下記の設定が自動的に変更される。

## 《変更前》



## 《変更後》



左 : `C:\Program Files\WinMerge\WinMergeU.exe -e -ub -dl %bname -dr %ynam %base %mine`

右 : `C:\Program Files\WinMerge\WinMergeU.exe`

以上で一通りのセットアップは完了。

以上の内容とは別に、TortoiseGit で共有リポジトリ（サーバー）と SSH 通信する場合は、秘密鍵と公開鍵を生成して TortoiseGit に秘密鍵を設定する必要あり。共有鍵はサーバーにコピー。

この説明については別紙参照。

---

## TortoiseGit セットアップ手順

---

以 上